



挑戦と
創造の
あかし

TEAM NEXT YONEZAWA



代表取締役副社長の岩崎智成さん。物心ついたときには石屋になろうと決めていた。2級土木施工管理技士、お墓ディレクター2級、お墓相談員の資格を有する石材とお墓のスペシャリスト。

岩崎石材工業株式会社(大字花沢) —
不変的なものを提供し、
普遍的な価値を創造する

大正13年の創業以来、確かな品質で石材の加工・販売を続けている岩崎石材工業(株)。国道13号沿いにある自慢の自社工場からは、石材を加工する快音が響いてきます。

「石のことならなんでもお任せください」と笑顔で話すのは副社長の岩崎智成さん。

自社工場を持たない石材店が多い中、岩崎石材工業(株)では県外からも声がかかるほどの腕利きの職人たちが石材を加工しています。「自社工場があるから、お客様の希望するデザインをすぐに反映できます」と話すとおり、様々なデザインで石材に命を吹き込んでいます。

彫刻や記念碑、建材のほかに墓石の制作も行っています。最近の墓石は昔ながらの縦長直方体だけでなく、趣向を凝らしたデザインの注文もあるとのこと。終活(最後まで自分らしい人生を送るための準備)の一環として、生きているうちに自分のお墓のデザインを自分で決めるという人も多くなってきたそうです。「喪の仕事」に近いこともやっているのですね、と尋ねると「お墓を死後のお家と考えている方も多いので、最近の墓石づくりは悲しいだけのものではないです」と静かに力強く答えます。墓石のデザインにあたっては、宗派ごとのマナーなどのアドバイスはもちろん、一人一人の希望に合わせて柔軟に対応します。色々な事情でお墓参りができない人のために、お墓参り代行もしています。

最後に、今後の意気込みを尋ねました。「石は長い時間不変なもの。変わらない品質を届け続けるのが使命だと思っています」。変わり続ける社会の中でも、岩崎石材工業(株)は磐石のように地域を支えます。

「米沢品質向上運動」とは

本市では、挑戦と創造のあかし「米沢品質」をスローガンに掲げ、産品だけでなくサービス・観光・文化・行政など、様々な分野の「挑戦と創造」を喚起し、付加価値を高めていくことを目的に「米沢品質向上運動」を展開しています。本市のブランディングに賛同し、この運動に参加するプレイヤーが「TEAM NEXT YONEZAWA (TNY)」です。(7月14日現在、183の企業・団体・個人が登録)



TEAM NEXT
YONEZAWA